



(19)

(11) Publication number: 2003016170 A

Generated Document.

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(21) Application number: 2001195120

(51) Intl. Cl.: G06F 17/60

(22) Application date: 27.06.01

(30) Priority:

(71) Applicant: SONY CORP

(43) Date of application  
publication: 17.01.03(72) Inventor: UEDA OSAMU  
KANEDA YORIAKI(84) Designated contracting  
states:

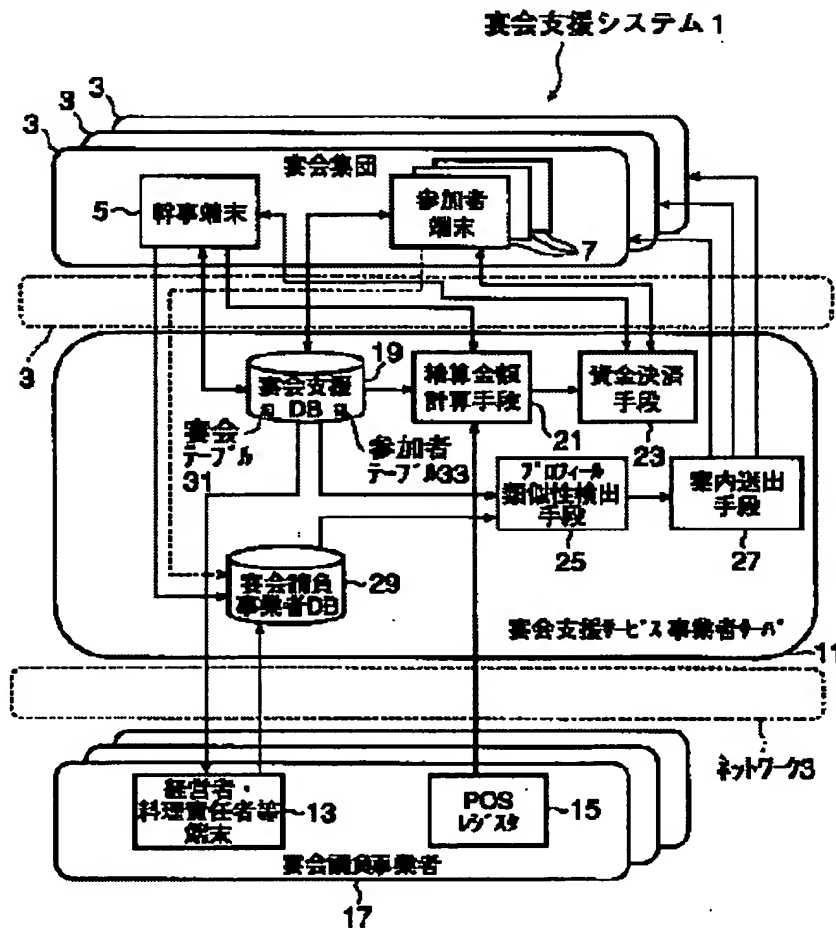
(74) Representative:

**(54) SYSTEM, METHOD  
AND PROGRAM FOR  
SUPPORTING MEETING  
AND COMPUTER  
READABLE PROGRAM  
STORAGE MEDIUM WITH  
PROGRAM FOR  
EXERTING MEETING  
SUPPORT FUNCTION  
RECORDED THEREON**

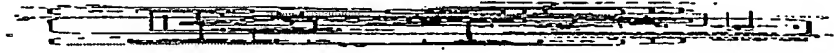
(57) Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a system and a method for supporting meeting, a computer readable program storage medium in which a program for exerting a meeting support function is recorded and a program for supporting meeting which permit provision of a higher service to a participant who participates in a meeting.

**SOLUTION:** This system is provided with a recruiting means 27 for recruiting participation in a meeting to be held, reserving means 13 and 19 for reserving an assembly hall for the meeting, an informing means 27 for transmitting an invitation about the meeting to participant terminals, a charging means 23 for charging money as a counter value for



participation in the meeting, and a service providing means 17 for providing the participants with a service.



COPYRIGHT: (C)2003,JPO

Requested Patent: JP2003016170A

Title: ;

Abstracted Patent: JP2003016170 ;

Publication Date: 2003-01-17 ;

Inventor(s): ;

Applicant(s): ;

Application Number: JP20010195120 20010627 ;

Priority Number(s): JP20010195120 20010627 ;

IPC Classification: G06F17/60 ;

Equivalents: ;

ABSTRACT:

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2003-16170

(P2003-16170A)

(43)公開日 平成15年1月17日(2003.1.17)

(51)Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テ-マ-ト*(参考)
G 0 6 F 17/60	1 2 4	G 0 6 F 17/60	1 2 4
	3 1 8		3 1 8 A
	3 2 2		3 2 2
	4 0 0		4 0 0
	Z E C		Z E C

審査請求 未請求 請求項の数14 O L (全 11 頁)

(21)出願番号 特願2001-195120(P2001-195120)

(22)出願日 平成13年6月27日(2001.6.27)

(71)出願人 000002185

ソニー株式会社

東京都品川区北品川6丁目7番35号

(72)発明者 上田 理

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニ

一株式会社内

(72)発明者 金田 頼明

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニ

一株式会社内

(74)代理人 100096806

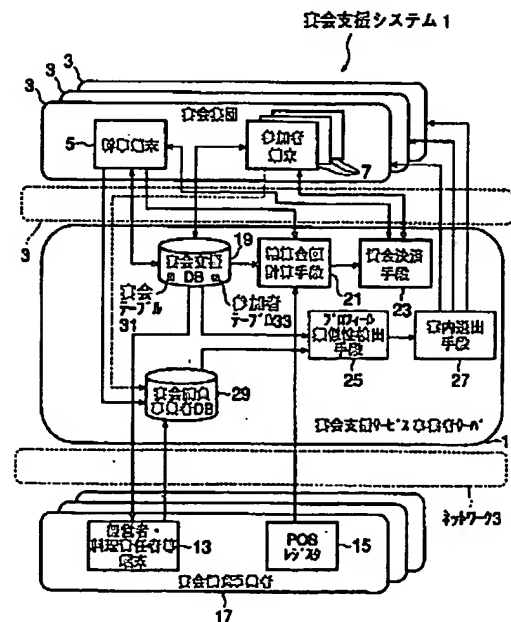
弁理士 岡△崎▽ 信太郎 (外1名)

(54)【発明の名称】 会合支援システム、会合支援方法、会合支援機能を発揮させるプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能なプログラム格納媒体及び、会合支援プログラム

(57)【要約】

【課題】 会合に参加する参加者に対してより良いサービスの提供を行うことができる会合支援システム、会合支援方法、会合支援機能を発揮させるプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能なプログラム格納媒体及び、会合支援プログラムを提供すること。

【解決手段】 開催予定の会合への参加を募る募集手段27と、前記会合の会場を予約する予約手段13、19と、前記会合に関する案内を参加者の端末に対して送信する案内手段27と、前記会合への参加の対価として金銭を徴収する徴収手段23と、前記参加者に対しサービスを提供するサービス提供手段17とを設ける。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 開催予定の会合への参加を募る募集手段と、  
前記会合の会場を予約する予約手段と、  
前記会合に関する案内を参加者の端末に対して送信する案内手段と、  
前記会合への参加の対価として金銭を徴収する徴収手段と、  
前記参加者に対しサービスを提供するサービス提供手段とを備えることを特徴とする会合支援システム。

【請求項2】 前記募集手段は、予め許可を受けた前記参加者のみが応募できるホームページによって参加を募る構成としたことを特徴とする請求項1に記載の会合支援システム。

【請求項3】 前記徴収手段は、電子決済により金銭を徴収する構成としたことを特徴とする請求項2に記載の会合支援システム。

【請求項4】 前記サービス提供手段は、予め前記参加者の嗜好を受け付け、前記参加者の嗜好に応じたサービスを提供する構成としたことを特徴とする請求項1に記載の会合支援システム。

【請求項5】 前記徴収手段によって徴収される金銭は、前記会合の幹事によって立て替えられており、前記徴収手段は、前記サービスに対する対価を前記参加者の人数で割った金銭の額を、前記幹事に対して提供する構成としたことを特徴とする請求項1に記載の会合支援システム。

【請求項6】 前記会合は飲食を伴っており、前記徴収手段は、前記参加者毎の飲食の量に応じて前記参加者が徴収されるべき金銭の額を、前記幹事に提供する構成としたことを特徴とする請求項1に記載の会合支援システム。

【請求項7】 開催予定の会合への参加を募る募集ステップと、  
前記会合の会場を予約する予約ステップと、  
前記会合に関する案内を参加者の端末に対して送信する案内ステップと、  
前記会合への参加の対価として金銭を徴収する徴収ステップと、  
前記参加者に対しサービスを提供するサービス提供ステップとを有することを特徴とする会合支援方法。

【請求項8】 前記募集手段は、予め許可を受けた前記参加者のみが応募できるホームページによって参加を募ることを特徴とする請求項7に記載の会合支援方法。

【請求項9】 前記徴収手段は、電子決済により金銭を徴収することを特徴とする請求項8に記載の会合支援方法。

【請求項10】 前記サービス提供手段は、予め前記参加者の嗜好を受け付け、前記参加者の嗜好に応じたサービスを提供することを特徴とする請求項7に記載の会合

支援方法。

【請求項11】 前記徴収手段によって徴収される金銭は、前記会合の幹事によって立て替えられており、前記徴収手段は、前記サービスに対する対価を前記参加者の人数で割った金銭の額を、前記幹事に対して提供することを特徴とする請求項7に記載の会合支援方法。

【請求項12】 前記会合は飲食を伴っており、前記徴収手段は、前記参加者毎の飲食の量に応じて前記参加者が徴収されるべき金銭の額を、前記幹事に提供することを特徴とする請求項7に記載の会合支援方法。

【請求項13】 開催予定の会合への参加を募る募集手段と、  
前記会合の会場を予約する予約手段と、  
前記会合に関する案内を参加者の端末に対して送信する案内手段と、  
前記会合への参加の対価として金銭を徴収する徴収手段と、  
前記参加者に対しサービスを提供するサービス提供手段として機能させる会合支援プログラムを記録したことを特徴とするコンピュータ読み取り可能なプログラム格納媒体。

【請求項14】 開催予定の会合への参加を募る募集手段と、  
前記会合の会場を予約する予約手段と、  
前記会合に関する案内を参加者の端末に対して送信する案内手段と、  
前記会合への参加の対価として金銭を徴収する徴収手段と、  
前記参加者に対しサービスを提供するサービス提供手段として機能させることを特徴とする会合支援プログラム。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、会合を支援する会合支援システム、会合支援方法、会合支援機能を発揮させるプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能なプログラム格納媒体及び、会合支援プログラムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】近年の情報産業の発達によってインターネット等による情報交換が盛んに行われている。また、このようなインターネットによる情報交換を行う者同士は、いわゆるオフ会と呼ばれる会合に参加して直接対面することがある。このような会合では、会合を取り仕切る幹事が存在しており、会場の予約といった雑務から会計までの全ての仕事を幹事が行わなければならない。

【0003】このような会合として宴会を例示すると、宴会を設定し盛り上げる役目を仰せつかった幹事は、ありとあらゆる配慮を求められており、概して宴会を楽しむことができない。例えば幹事は、宴会参加の呼びか

け、参加者の確定、参加者の好みに対する配慮、会費の徴収、差額の精算、宴会に対する寄付があった場合の処理、男性か女性か、大酒飲みか下戸か、遅刻者や早退者等による個人毎に勘定を割った勘定の調整等に追われる訳であり、酔うわけにはいかない。

#### 【0004】

【発明が解決しようとする課題】そのため、幹事は、宴会の場を盛り上げるようとする努力に集中できない等の場合があっただけでなく、精算金額の間違い、各個人毎の勘定額の不公平感等、幹事の信頼に関わる問題を起こす事も考えられる。従って、宴会等の会合に参加する全ての者がより良いサービスを受けられるシステムの構築が望まれていた。

【0005】そこで本発明は上記課題を解決し、会合に参加する参加者に対してより良いサービスの提供を行うことができる会合支援システム、会合支援方法、会合支援機能を発揮させるプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能なプログラム格納媒体及び、会合支援プログラムを提供することを目的としている。

#### 【0006】

【課題を解決するための手段】上記目的は、請求項1の発明にあつては、開催予定の会合への参加を募る募集手段と、前記会合の会場を予約する予約手段と、前記会合に関する案内を参加者の端末に対して送信する案内手段と、前記会合への参加の対価として金銭を徴収する徴収手段と、前記参加者に対しサービスを提供するサービス提供手段とを備えることを特徴とする会合支援システムにより、達成される。請求項1の構成によれば、まず開催予定の会合への参加が募られる。そして、会合の会場が予約され、会合に関する案内が参加者に対して連絡される。この会合への参加の対価として金銭が徴収され、会合への参加者にはサービスが提供される。従って、この会合では、とりまとめる幹事の負担が軽減されるので、幹事が会合に参加する参加者に対してより良いサービスの提供を行うことができる。

【0007】請求項2の発明は、請求項1の構成において、前記募集手段は、予め許可を受けた前記参加者のみが応募できるホームページによって参加を募る構成としたことを特徴とする。請求項2の構成によれば、請求項1の作用に加えて、このホームページは、予め許可を受けた参加者のみがアクセスすることができるので、一定の者のみが参加者となるようにすることができる。

【0008】請求項3の発明は、請求項2の構成において、前記徴収手段は、電子決済により金銭を徴収する構成としたことを特徴とする。請求項3の構成によれば、請求項2の作用に加えて、現金を取り扱う必要が無くなる。

【0009】請求項4の発明は、請求項1の構成において、前記サービス提供手段は、予め前記参加者の嗜好を受け付け、前記参加者の嗜好に応じたサービスを提供す

る構成としたことを特徴とする。請求項4の構成によれば、請求項1の作用に加えて、参加者の嗜好に応じたサービスが提供されるようになる。

【0010】請求項5の発明は、請求項1の構成において、前記徴収手段によって徴収される金銭は、前記会合の幹事によって立て替えられており、前記徴収手段は、前記サービスに対する対価を前記参加者の人数で割った金銭の額を、前記幹事に対して提供する構成としたことを特徴とする。請求項5の構成によれば、請求項1の作用に加えて、幹事の負担を軽減することができる。

【0011】請求項6の発明は、請求項1の構成において、前記会合は飲食を伴っており、前記徴収手段は、前記参加者毎の飲食の量に応じて前記参加者が徴収されるべき金銭の額を、前記幹事に提供する構成としたことを特徴とする。請求項6の構成によれば、請求項1の作用に加えて、幹事は、参加者毎に徴収すべき金銭の額を算出しなくても各参加者から徴収すべき金銭の額を知ることができるので、負担が軽減される。

【0012】上記目的は、請求項7の発明にあつては、開催予定の会合への参加を募る募集ステップと、前記会合の会場を予約する予約ステップと、前記会合に関する案内を参加者の端末に対して送信する案内ステップと、前記会合への参加の対価として金銭を徴収する徴収ステップと、前記参加者に対しサービスを提供するサービス提供ステップとを有することを特徴とする会合支援方法により、達成される。請求項7の構成によれば、まず開催予定の会合への参加が募られる。そして、会合の会場が予約され、会合に関する案内が参加者に対して連絡される。この会合への参加の対価として金銭が徴収され、会合への参加者にはサービスが提供される。従って、この会合では、とりまとめる幹事の負担が軽減されるので、幹事が会合に参加する参加者に対してより良いサービスの提供を行うことができる。

【0013】請求項8の発明は、請求項7の構成において、前記募集手段は、予め許可を受けた前記参加者のみが応募できるホームページによって参加を募ることを特徴とする。請求項8の構成によれば、請求項7の作用に加えて、このホームページは、予め許可を受けた参加者のみがアクセスすることができるので、一定の者のみが参加者となるようにすることができる。

【0014】請求項9の発明は、請求項8の構成において、前記徴収手段は、電子決済により金銭を徴収することを特徴とする。請求項9の構成によれば、請求項8の作用に加えて、現金を取り扱う必要が無くなる。

【0015】請求項10の発明は、請求項7の構成において、前記サービス提供手段は、予め前記参加者の嗜好を受け付け、前記参加者の嗜好に応じたサービスを提供することを特徴とする。請求項10の構成によれば、請求項7の作用に加えて、参加者の嗜好に応じたサービスが提供されるようになる。

【0016】請求項11の発明は、請求項7の構成において、前記徴収手段によって徴収される金銭は、前記会合の幹事によって立て替えられており、前記徴収手段は、前記サービスに対する対価を前記参加者の人数で割った金銭の額を、前記幹事に対して提供することを特徴とする。請求項11の構成によれば、請求項7の作用に加えて、幹事の負担を軽減することができる。

【0017】請求項12の発明は、請求項7の構成において、前記会合は飲食を伴っており、前記徴収手段は、前記参加者毎の飲食の量に応じて前記参加者が徴収されるべき金銭の額を、前記幹事に提供することを特徴とする。請求項12の構成によれば、請求項7の作用に加えて、幹事は、参加者毎に徴収すべき金銭の額を算出しなくても各参加者から徴収すべき金銭の額を知ることができるので、負担が軽減される。

【0018】上記目的は、請求項13の発明にあっては、開催予定の会合への参加を募る募集手段と、前記会合の会場を予約する予約手段と、前記会合に関する案内を参加者の端末に対して送信する案内手段と、前記会合への参加の対価として金銭を徴収する徴収手段と、前記参加者に対しサービスを提供するサービス提供手段として機能を発揮させる会合支援プログラムを記録したことを特徴とするコンピュータ読み取り可能なプログラム格納媒体により、達成される。請求項13の構成によれば、まず開催予定の会合への参加が募られる。そして、会合の会場が予約され、会合に関する案内が参加者に対して連絡される。この会合への参加の対価として金銭が徴収され、会合への参加者にはサービスが提供される。従って、この会合では、とりまとめる幹事の負担が軽減されるので、幹事が会合に参加する参加者に対してより良いサービスの提供を行うことができる。

【0019】上記目的は、請求項14の発明にあっては、開催予定の会合への参加を募る募集手段と、前記会合の会場を予約する予約手段と、前記会合に関する案内を参加者の端末に対して送信する案内手段と、前記会合への参加の対価として金銭を徴収する徴収手段と、前記参加者に対しサービスを提供するサービス提供手段として機能させることを特徴とする会合支援プログラムにより、達成される。請求項14の構成によれば、まず開催予定の会合への参加が募られる。そして、会合の会場が予約され、会合に関する案内が参加者に対して連絡される。この会合への参加の対価として金銭が徴収され、会合への参加者にはサービスが提供される。従って、この会合では、とりまとめる幹事の負担が軽減されるので、幹事が会合に参加する参加者に対してより良いサービスの提供を行うことができる。

【0020】

【発明の実施の形態】以下、本発明の好適な実施の形態を添付図面に基いて詳細に説明する。なお、以下に述べる実施の形態は、本発明の好適な具体例であるから、

技術的に好ましい種々の限定が付されているが、本発明の範囲は、以下の説明において特に本発明を限定する旨の記載がない限り、これらの形態に限られるものではない。

【0021】図1は、本発明の好ましい実施形態としての会合支援システムが適用された宴会支援システム1の構成例を示すシステム構成図である。宴会支援システム1は、会合の一例として、例えば酒類等の飲食を伴う宴会の進行を支援する機能を有する会合支援プログラムによって実現されている。この宴会支援システム1は、例えば幹事端末5及び少なくとも1台の参加者端末7を有する少なくとも1グループの宴会集団3、宴会支援サービス事業者サーバ11、ネットワーク3並びに、経営者・料理責任者等端末13及びPOS(Point Of Sales)レジスタ15を有する宴会請負事業者17によって実現されている。

【0022】宴会集団3に含まれる幹事端末5は、開催する宴会の幹事が操作するコンピュータや情報携帯端末等の電子端末である。この幹事端末5は、幹事が宴会を進行する上で必要な処理を、幹事の操作によって実現する機能を有する。参加者端末7は、その宴会に参加を希望する参加者が操作するコンピュータや情報携帯端末等の電子端末である。この参加者端末7は、参加者の操作によって参加募集されている宴会に応募する機能を有する。この参加者は、例えば予め宴会支援サービス事業者サーバ11に登録されている者であることが、応募の条件とされている。このようにすると、宴会に見知らぬ者が参加することがなく一定の者のみが参加するようになるので、幹事が安心して会合を開催することができる。

【0023】宴会支援サービス事業者サーバ11は、宴会支援データベース(DB)19、精算金額計算手段21、資金決済手段23、案内送出手段27、プロフィール類似性検出手段25及び宴会請負事業者データベース(DB)29を備える。宴会支援DB19は、後述する図2に示すような宴会を支援するための情報が格納されている。また、この宴会支援者DB19は、例えば参加者の飲食に関する嗜好に関する情報を登録する機能を有しており、この嗜好に関する情報を経営者・料理責任者等端末13に与えることができる。また、宴会支援者DB19からは、プロフィール類似性検出手段25に参加者や団体等のプロフィールを提供する構成となっている。この宴会支援者DB19は、宴会テーブル31及び参加者テーブル33を有し、これらの詳細については後述する。

【0024】精算金額計算手段21は、例えば幹事端末5の要求によって、宴会支援者DB19から宴会を支援するための情報及び、宴会請負事業者17のPOSレジスタ15から宴会の全会費を取得し、資金決済手段23に出力する。この資金決済手段23は、参加者端末7に対して、例えば電子決済により会費を徴収する。ここ

で、この宴会では飲食を伴っており、資金決済手段23は、参加者毎の飲食の量に応じて参加者が徴収されるべき金銭の額を、幹事端末5に提供する機能を有する。このようにすると、幹事は、参加者毎に徴収すべき金銭の額を算出しなくても拡散貨車から徴収すべき金銭の額を知ることができるので、負担が軽減される。

【0025】また、この資金決済手段23は、この代わりに、幹事端末5に対して参加者端末7が決済すべき会費を立て替えるように決済することもできる。この場合、資金決済手段23は、参加者に提供されるサービスに対する対価を参加者の人数で割った金銭の額を、幹事端末5に対して提供する機能を有する。このようにすると、幹事は、参加者毎の勘定を自ら計算する必要がないので、負担が軽減される。

【0026】宴会請負事業者DB29は、上記幹事が開催する宴会を請け負う宴会請負事業者17を予め登録するためのデータベースである。この宴会請負事業者DB29には、例えば図4に示すようなデータが登録されている。図1の幹事端末5は、この宴会請負事業者DB29に登録されている宴会請負事業者17（業者）を選択することができる。この宴会請負事業者17は、宴会支援サービス事業者サーバ11にアクセスしようとする、宴会請負事業者DB29に登録されているか否かがチェックされ、登録されていない場合は宴会支援サービス事業者サーバ11にアクセスできないようになっている。

【0027】プロフィール類似性検出手段25は、宴会支援者DB19及び宴会請負事業者DB29から後述する参加者等のプロフィールを取得し、取得したプロフィールの類似性、つまり両プロフィールが類似しているか否かを判断する機能を有する。また、このプロフィール類似性検出手段25は、検出したプロフィールに基づいて、宴会の案内をどの参加者端末7に送信すればよいかについての情報を案内送出手段27に与える。この案内送出手段27は、この情報に基づいて、例えば電子メールによって宴会の案内を所定の参加者端末7に送信する機能を有する。

【0028】宴会請負事業者17は、酒場、レストラン、旅館、旅行代理店等の事業者である。宴会請負事業者17における経営者・料理責任者等端末13は、宴会場の経営者や料理責任者等が操作する電子端末であり、宴会を行う団体や参加者の嗜好を把握し、適切なサービスを提供する機能を有する。また、POSレジスタ15は、宴会を行う会場に設置されているPOSレジスタを示しており、団体等のプロフィールを自動的に入力する機能を有する。つまり、ある団体がPOSレジスタ15によって勘定を支払うと、その宴会で提供された飲食等のサービス内容（プロフィール）が自動的にPOSレジスタ15に入力される構成となっている。尚、このようなプロフィールの自動入力機能が不要である場合には、

POSレジスタ15を省略することができる。

【0029】図2は、図1の宴会支援者DB19の宴会テーブル31に登録されているデータの一例を示す図である。宴会テーブル31は、コードナンバー、幹事名（メールアドレス）、団体名、開催場所、開催日、会費ルール（負担比重）、団体プロフィール（プロフィール）及び特別メッセージという項目を有する。

【0030】コードナンバーは、幹事毎に付与されている識別子であり、幹事名は、幹事の名前を示しており、かっこ書きの中は、連絡先の一例としてのメールアドレスを示している。団体名は、幹事が開催する宴会への参加者の所属団体の名前を示しており、開催場所は、宴会の会場を示している。また、開催日は、宴会が開催される日付を示しており、会費ルールは、負担比率を示している。ここでいう負担比率とは、参加者個人個人の事情によって負担する会費をそれぞれ決定する際の会費の負担比率を示している。

【0031】この負担比率は、宴会が、例えば送別会であれば送別者が無料となるようにしたり、例えば管理職の人は20%増しの負担としたり、例えば男性は10%増しの負担としたり、例えば女性は10%少なく負担させるような比率を示している。また、この負担比率は、例えば大酒のみの参加者は5%増しの負担としたり、酒を飲めない（下戸な）参加者は5%少なく負担させるような比率を示している。

【0032】団体プロフィールは、宴会を行う団体の性質である例えば日本酒が好きであることや、団体の希望である例えば個室を希望していることを登録する項目である。特別メッセージは、特別に記録しておきたいこと、例えば「今回は田中さんの送別会である旨」を登録する項目である。

【0033】図3は、図1の宴会支援者DB19の参加者テーブル33に登録されるデータの一例を示す図である。参加者テーブル33は、図2に示す幹事のコードナンバー「AA0001192」に関連づけられており、幹事フラグ、参加者名、参加種別（プロフィール）、資金決済先、アンケート結果記号及び特記事項（プロフィール）という項目を有する。幹事フラグは、参加者の内幹事である者を識別するためのフラグであり、例えば「YES」と登録されている者が幹事である。

【0034】参加者名は、参加する者の名前が登録されるようになっており、好ましくは各個人の連絡策として、例えばメールアドレスが登録できるようになっている。参加種別は、参加者各個人が、例えば男性か女性か、管理職であるか否か、送別される送別者であるか否かを識別するためのプロフィールを示す識別子である。資金決済先は、参加者各個人の会費の決済先を示しており、特記事項は、各参加者の嗜好を示すプロフィールである。

【0035】図1の宴会支援システム1の概略構成は以

上のようにあり、次に図1～図4を参照しつつその動作例について説明する。図5～図10は、それぞれ図1の宴会支援システム1によって実現される宴会支援方法の手順の一例を示すフローチャートである。

#### 【0036】宴会請負事業者の登録処理

図5に示すステップST1では、図1の宴会請負事業者17が経営者・料理責任者等端末13を操作して、宴会支援サービス事業者サーバ11に対して業者登録を行うように請求する。ステップST2では、宴会請負事業者17が登録の対価を宴会支援サービス事業者に対して支払う。次にステップST3では、宴会支援サービス事業者がその対価を受け取っていないとステップST2に戻り、宴会支援サービス事業者がその対価を受け取っていることを確認する。

【0037】次にステップST4では、宴会請負事業者17は、経営者・料理責任者等端末13を操作して、必要事項を所定のフォームに入力して宴会請負事業者DB29に登録する。次にステップST5では、宴会請負事業者17が、経営者・料理責任者等端末13を操作して維持費用を宴会支援サービス事業者サーバ11に対して、例えば電子決済によって支払う。次にステップST6では、宴会支援サービス事業者サーバ11は、宴会請負事業者17からの登録費用を受け取ったか否かを判断し、受け取っていなければ登録を抹消し（ステップST7）、終了する。一方、登録維持費用を受け取っている場合には、ステップST8では運用が継続される。

#### 【0038】開催する宴会への参加募集処理

図6のステップST10では、まず幹事が、会合の一例として、例えば宴会を企画する。次にステップST11では幹事が利用費用を支払い、ステップST12では、宴会支援サービス事業者が利用費用の受け取りを確認し、利用費用が受け取られていないようであれば幹事に対して利用費用の支払いを要求する。利用費用が受け取られていることが確認されると、ステップST13では、幹事端末5の要求によって宴会支援者DB19から、宴会企画告知を行うためのフォームを用意する。このフォームは、例えば幹事端末5に対して送信され、ステップST14では、幹事がこのフォームに必要事項を記入する。

【0039】次にステップST15では、宴会請負事業者17が、例えば宴会の企画を告知するためのホームページを開設し、このホームページについての例えばURL (Uniform Resource Locator) に関する情報が、ある1つの宴会集団3に含まれる参加者端末7に対して送信される。次にステップST16では、幹事端末5がこのホームページのURLに関する情報を受信する。次にステップST17では、幹事が、幹事端末5を操作してそのホームページを参照し、宴会を企画することを申し込む。

【0040】次にステップST18では、宴会請負事業

者17が、宴会を企画する旨の申し込みを受け付け、申し込みを受け付けない場合にはステップST20では申し込みが拒否され、申し込みを受け付ける場合にはステップST21では、例えば電子メールによって参加者に企画（宴会の開催）について告知される。ステップST22では、参加者が参加者端末7を操作して宴会企画の告知を受信する。

【0041】次にステップST23では、参加者が、参加者端末7を操作して告知の詳細な内容を閲覧する。次にステップST24では、参加者は、参加者端末7を操作して所定のフォームに申し込み情報を記入する。この申し込み情報には、参加者の嗜好等のプロフィールも含まれている。申し込み情報に含まれる嗜好は、宴会当日サービスされる飲食等に反映される。次にステップST25では、参加者は、参加者端末7を操作して、会費を支払うべく宴会支援サービス事業者サーバ11に対して、例えば電子決済によって送金する。次にステップST26では、宴会支援サービス事業者は、宴会支援サービス事業者サーバ11の資金決済手段23によって決済を行う。次にステップST27では、幹事が宴会会費を受け取る。

【0042】一方、ステップST30では、宴会請負事業者17が、宴会支援サービス事業者サーバ11の宴会支援者DB19から参加者の嗜好を閲覧する。ステップST31では、宴会請負事業者17は、参加者に提供するサービスの内容の詳細を決定する。

#### 【0043】宴会当日の処理

次にステップST40では、幹事が、宴会の内容において修正項目があるか否かを判断し、修正事項がなければステップST42に進む。一方、修正事項があれば、その修正事項が所定のフォームに記入され（ステップST41）、そのフォームが宴会支援サービス事業者サーバ11に送信される。宴会支援サービス事業者サーバ11では、このフォームへの記載事項が宴会支援者DB19に登録される。尚、この宴会支援者DB19に登録されているデータについては、衆目にさらされない手段が講じられることが望ましい。

#### 【0044】宴会終了後の処理

次にステップST42では、宴会の会費の合計額が計算されて請求額が決定され、幹事端末5に告知される。次にステップST43では、例えば幹事が宴会の費用の支払いを行う。次にステップST44では、幹事端末5において対価自動登録機能がある場合には、ステップST45では、宴会請負事業者17において受取額が記入され、ステップST47に進む。一方、対価自動登録機能がない場合には、ステップST46に進み、幹事が、幹事端末5を操作して所定のフォームに支払い額を記入し、宴会支援サービス事業者サーバ11の宴会支援者DB19に登録する。次にステップST47では、宴会支援サービス事業者サーバ11では、宴会への実際の参加

者の人数で、宴会にかかった経費を割って計算する。

【0045】次にステップST48では、宴会支援サービス事業者サーバ11は、参加者端末7に対して精算額を告知する。次にステップST49では、参加者は、参加者端末7を操作して精算を行うように宴会支援サービス事業者サーバ11に指示を出す。次にステップST50では、宴会支援サービス事業者サーバ11の資金決済手段23が決済を行い、幹事端末5に対して清算金を支払う。また、宴会支援者DB19には、精算した旨が登録される。次にステップST51では、幹事が、幹事端末5によって清算金を受け取ることができ、次にステップST56に進む。

【0046】ここで、もし、幹事が参加者から多めに金額を徴収していた場合には、ステップST52では、幹事に対して払い戻し額が告知され、ステップST53では、精算額のし払いが送金される。次にステップST54では、宴会支援サービス事業者が、資金決済手段23によって参加者に対して払い戻しを行う。また、ステップST55では、参加者は清算金を受け取り、ステップST56に進む。

【0047】ステップST56では、支払い状況が確認され、支払われている場合にはステップST57に進む。ここで、宴会支援者DB19では、登録されているこれらの参加者に関するプロフィールの修正が例えば禁止されるようにしても良い。一方、支払われていない場合には、ステップST58に進む。ステップST57では、宴会支援サービス事業者サーバ11によって宴会支援者DB19から情報を取得することによって参加者リストが作成される。そして、宴会支援サービス事業者サーバ11は、この参加者リストを幹事端末5に送信し、ステップST58に進む。

【0048】ステップST58では、上記参加者リストが幹事によって閲覧される。次にステップST59では、幹事が、幹事端末5を操作して督促発送を行うか否かが判断され、督促発送を行う場合には、ステップST60に進む。このステップST60では、幹事が、幹事端末5によって宴会支援サービス事業者サーバ11に対して督促発送指定を行う。ステップST61では、宴会支援サービス事業者サーバ11が参加者端末7に対して督促発送を行い、ステップST62では、参加者端末7が督促を受信し、ステップST48に戻る。

【0049】一方、ステップST59にて督促発送しない場合には、ステップST63では直接支払いを受けた旨の記録が宴会支援者DB19に登録される。次にステップST64では、幹事が支払いを完了していなければステップST56に戻り、支払いが完了していれば図9のステップST65に進む。このステップST65では、幹事が、幹事端末5を操作して宴会支援サービス事業者サーバ11に対して完了を告知する。ステップST66では、宴会支援サービス事業者サーバ11は、幹事

端末5からの完了告知を宴会支援者DB19に登録する。

【0050】次にステップST67では、参加者端末7及び幹事端末5に対して宴会支援サービス事業者サーバ11からアンケートフォームが発信される。参加者は、参加者端末7を操作し、受信したアンケートフォームに記入し、記入したアンケートフォームを宴会支援サービス事業者サーバ11に対して送信し、その記入事項が宴会支援者DB19に登録される（ステップST69）。一方、ステップST68では、幹事が、幹事端末5を操作し、受信したアンケートフォームに記入し、記入したアンケートフォームを宴会支援サービス事業者サーバ11に対して送信し、その記入事項が宴会支援者DB19に登録される。

【0051】このようにすると、宴会請負事業者17は、宴会支援者DB19に登録された上記記入事項を閲覧し、業務改善を行うことができる（ステップST70）。

【0052】次にステップST71では、幹事がアフターサービスを利用するか否かが問われ、利用しない場合には宴会支援者DB19が消去される。一方、アフターサービスを利用する場合には、宴会支援者DB19は、宴会支援サービス事業者サーバ11に保存される。

【0053】次にステップST80では、宴会請負事業者17が、新規サービスメニュー等を上記プロフィールとして宴会請負事業者DB29に登録する。

【0054】次にステップST90では、宴会支援サービス事業者サーバ11によって宴会請負事業者DB29及び宴会支援者DB19に登録されているプロフィールが比較され、ステップST91では、両プロフィールが一致するか否かが判断される。一致すればステップST93に進み、一致していなければステップST92に進む。このステップST92では、宴会支援サービス事業者は、新規業者情報が有るか否かを判断し、無ければステップST90に進む。

【0055】一方、新規業者情報が有るようであれば、ステップST93に進む。ステップST93では、宴会支援サービス事業者が、宴会支援サービス事業者サーバ11から幹事端末5に宴会開催の おすすめ情報を発信する。次にステップST94では、幹事端末5を操作する幹事が宴会を開催するか否かを判断する。幹事が、新たな宴会を企画しないようであればステップST90に戻り、企画するのであればステップST10に戻る。新たに宴会を催す場合には、前回宴会支援者DB19に登録済みのプロフィール等のレコードがそのまま流用できるので、幹事等による事務処理等の手続きが簡素化され、負担が軽減される。

【0056】本発明の実施形態によれば、宴会等の会合を主催する幹事が事務的心労から解放される。そのため、幹事が一緒に宴会等の会合を盛り上げることができ

るので、この会合支援システム1によれば、幹事や参加者に対してより良いサービスを提供することができる。また、このような宴会支援システムでは、宴会支援サービス事業者が、どこにどのような集団がどのような場所でどのような宴会を行うことを好んでいるかという情報を集めることができる。従って、宴会請負事業者17は、自己が提供するサービスの満足度を顧客である参加者から容易に得ることができ、経営改善に役立てることができる。また、この会合支援システム1によれば、宴会終了後も、仲間同士又は宴会を持つきっかけを提供でき、コミュニティの活性化や職場の円滑化等にも貢献することができる。また、継続的にこの会合支援システムを使用して宴会を行う団体は、種々の情報が既に登録されているので、次回に宴会を行う際の事務手続きそのものも簡素化することができる。

【0057】ところで本発明は上述した実施形態に限定されるものではない。上述した一連の処理を実行する会合支援プログラムをコンピュータにインストールし、コンピュータによって実行可能な状態とするために用いられるプログラム格納媒体としては、例えばフロッピー（登録商標）ディスク、CD-ROM (Compact Disc Read Only Memory)、DVD (Digital Versatile Disc) などのパッケージメディアのみならず、プログラムが一時的もしくは永続的に格納される半導体メモリや磁気ディスクなどで実現しても良い。これらプログラム格納媒体にプログラムを格納する手段としては、ローカルエリアネットワークやインターネット、デジタル衛星放送などの有線および無線通信媒体を利用しても良く、ルーターやモデム等の各種通信インターフェースを介在させて格納するようにしてもよい。また、上述した宴会支援サービス事業者サーバ11、情報中継者端末129、経営者・料理責任者等端末13、幹事端末5及び参加者端末7は、それぞれ上記プログラム格納媒体のプログラム等のデータを少なくとも読み取ることができるドライブ装置を備えていても良い。また、上記機能を発揮させるための会合支援プログラムは、上記プログラム格納媒体に格納されている形態のみならず、インターネット等の各種通信手段を経由してデータ通信される形態であつ

ても良いことはいうまでもない。上記実施形態の各構成は、その一部を省略したり、上記とは異なるように任意に組み合わせることができる。

【0058】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、会合に参加する参加者に対してより良いサービスの提供を行うことができる会合支援システム、会合支援方法、会合支援機能を発揮させるプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能なプログラム格納媒体及び、会合支援プログラムを提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の好ましい実施形態としての会合支援システムが適用された宴会支援システムの構成例を示すシステム構成図。

【図2】図1の宴会支援者DBの宴会テーブルに登録されているデータの一例を示す図。

【図3】図1の宴会支援者DBの参加者テーブルに登録されるデータの一例を示す図。

【図4】図1の宴会請負事業者DBに登録されているデータの一例を示す図。

【図5】図1の宴会支援システムによって実現される宴会支援方法の手順の一例を示すフローチャート。

【図6】図1の宴会支援システムによって実現される宴会支援方法の手順の一例を示すフローチャート。

【図7】図1の宴会支援システムによって実現される宴会支援方法の手順の一例を示すフローチャート。

【図8】図1の宴会支援システムによって実現される宴会支援方法の手順の一例を示すフローチャート。

【図9】図1の宴会支援システムによって実現される宴会支援方法の手順の一例を示すフローチャート。

【図10】図1の宴会支援システムによって実現される宴会支援方法の手順の一例を示すフローチャート。

【符号の説明】

1・・・宴会支援システム（会合支援システム）、13・・・経営者・料理責任者等端末（予約手段、サービス提供手段）、17・・・宴会請負事業者（サービス提供手段）、19・・・宴会支援者DB（予約手段、連絡手段）、23・・・資金決済手段（徴収手段）、27・・・案内送出手段（募集手段）

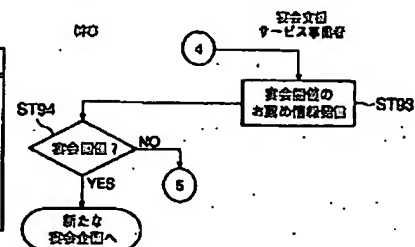
【図3】

参加者ファイル

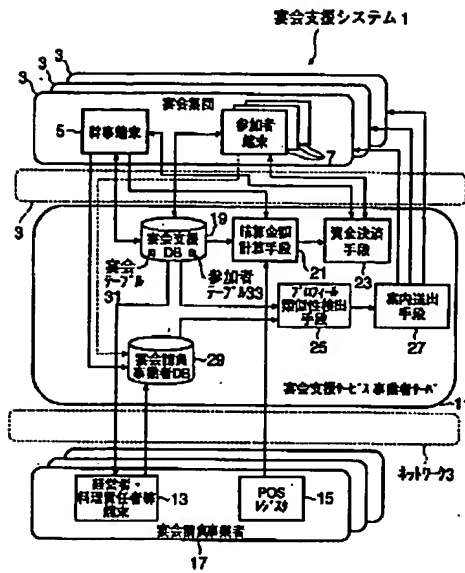
コードナンバー：AA0001192 連絡ホームページアドレス：www.nonbel.com/aa0001192

出席	参加者名	参加種別	資金決済	アンケート結果記号	特記事項
YES	山田一郎 (yam@aa.xx.xx)	一般男性	OX 銀行 (口座.....)	未記入	動物アレルギー
	田中二郎 (tan@aa.xx.xx)	送別者	OX 銀行 (口座.....)	未記入	
	鈴木三郎 (sum@aa.xx.xx)	管理型	OX 銀行 (口座.....)	未記入	大酒飲み
	下田花子 (chi@aa.xx.xx)	一般女性	OX 銀行 (口座.....)	未記入	下戸、口悪い
	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

【図10】



【図1】



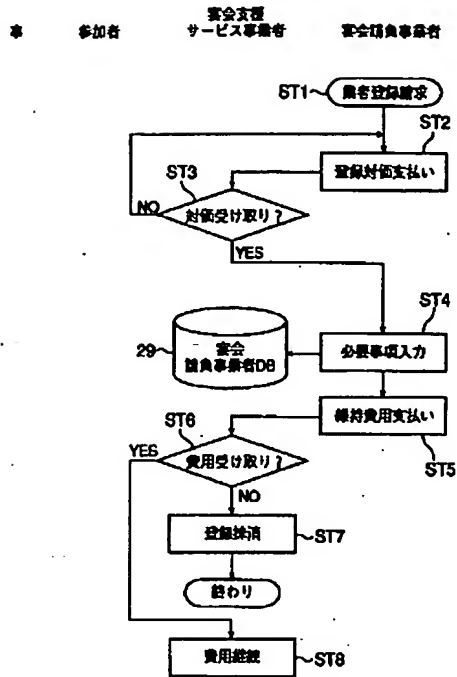
【図2】

コードナンバー	幹事名(メールアドレス)	幹事色	所属団体	開催日
AA0001192	山田一郎 (yama@aa.co.jp)	幹事主催者の会	衆事連五反田	2001.03.21 19.00.21.00

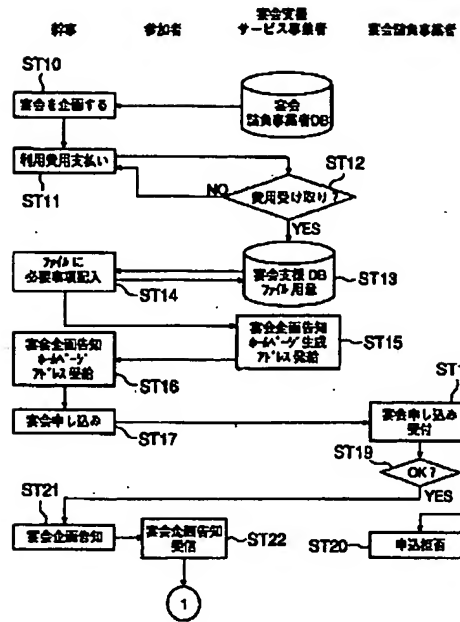
【図4】

集者名	連絡先	POSレジスター ネットアクセス?	プロフィール
・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・
榮菜園五反田	murasaki.com	YES Address:*****	日本通に自身、傾き有り....
・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・

【図5】



【図6】



【図8】

【図7】

